

新中期経営計画（2017～2019年度）について

【新中期経営計画の概要】

当社グループは、新たに以下を骨子とする第3次中期経営計画（2017年1月～2019年12月）を策定し、国際総合フレイトフォワーダーとしての確立をめざす取組みの強化に努めており、その概要は下記のとおりであります。

1. 当社グループがめざすもの

当社グループは、輸出入混載輸送事業を通じて培った幅広い信用と貨物輸送のスキルとリソースを最大限に活かして、国際総合フレイトフォワーダーとして数年内に売上高 300 億円を達成し、さらにその先には 500 億円規模の物流企業としての地位を展望しております。

その目標に向けて第3次中期経営計画を策定し、グループの総力を挙げてその達成に取り組んでおります。

2. グループ基本方針

当社グループが行う各事業についての中長期的な基本方針は下記のとおりであります。

(1) 単体事業

単体事業では、混載輸送事業をサービスの骨格とし、豊富な既存顧客をベースに、自社通関、国内外フォワーディングを取込んだ営業活動を強化し、取扱数量の拡大による売上増とコストの低減による利益の増加を図ります。

(2) 国内グループ会社事業

①国内グループ会社事業では、フライングフィッシュ株式会社を中心とするフォワーディング事業に最大限の経営資源を投入し、フォワーディング事業の中核会社としてその事業領域を拡大し、混載事業に並ぶ新しい事業の柱に育てます。

②株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、引き続き着実な収益事業体として航空輸送事業及び通関事業等を拡大し、より一層の収益向上をめざします。

(3) 海外グループ会社事業

①2016年11月に営業を開始した内外銀山ロジスティクス株式会社の自社倉庫事業をグループ全社でサポートし、業容の拡大と早期の黒字化をめざします。

②海外グループ各社の地域特性や事業特性に応じた経営体制を確立し、きめ細かな戦略と迅速な意思決定とにより大幅な収益増を図ります。

③既存海外代理店との連携強化と、新規代理店の開拓とにより、共に収益拡大が可能なパートナーシップ関係の構築へと繋がります。

(4) 人材の育成

将来を担う優れた人材を育成するため、人事制度をはじめ、より働きがいのある環境作りを進めます。また、個々の能力を高め、多様性を重んじることで、組織目標を共有した強いグループ集団を創り上げます。

(5) 株主還元

当社の重要施策である株主還元については、安定的配当を実施するための収益確保に努め、配当性向 30%を目標に取り組めます。

(6) 目標とする経営指標

①ROE(自己資本利益率)

収益性、株主価値、資金効率を重視する観点から ROE の向上をめざし、2019 年度には 14%以上をめざします。

②営業利益率

売上高営業利益率については、事業の拡大、多様化に伴い近年鈍化傾向にありますが、収益性を重視する観点から、2019 年度には 7%以上をめざします。

中期経営計画連結業績目標（2017～2019年度）

売上高

数年内に300億円達成

営業利益率

7%以上

ROE

14%以上